

北イタリア安全対策情報（2022年7月～9月）

1 治安情勢

当地では、感染症対策規制緩和による観光客の増加と共に窃盗等の日本人の被害申告が増加しており、その多くは公共の場所や電車内におけるスリと置き引き被害です。

仮にパスポートや所持金が窃取されれば、個人情報の流出のみならず旅程変更などを余儀なくされ、大きな損害が発生することとなります。

よって、治安状況が日本と異なることを強く意識し、荷物等から目を離さず、必要最低限の所持金品を持ち歩くことが被害の防止と拡大の阻止に極めて有効な対策となります。

2 日本人被害（件数は当館に届け出のあったもののみを計上）

（1）車上狙い 1 件（参考：4月から6月は2件）

被害例：突然車のタイヤがパンクしたため、停車・確認中に窃取された。

（2）置き引き 6 件（同：3件）

被害例：電車内やレストランで目を離している隙にバックを窃取された。

（3）スリ 7 件（同：5件）

被害例：公共の場所で飲食や徒歩中又は地下鉄において若い女性に話しかけられた際に財布等を窃取された。

（4）ひったくり 1 件（同：2件）

被害例：ベンチで休憩中、車から降りてきた男性が近寄り、バックを無理矢理窃取された。

（5）詐欺 1 件（同：0件）

被害例：見知らぬ男に金銭を要求され交付したが返金されなかった。

3 殺人・強盗・誘拐等凶悪犯罪例

日本人以外の被害が発生した事件の一例は、以下のとおりです。

（1）7月上旬、ミラノ市内コロソ・コモでベイビーギャング等の非行少年グループがショットガンなどを使用し、10人以上を巻き込む傷害致傷事件を起こした。

（2）9月上旬、ミラノ市ペロにあるバー内でウクライナ人男性（26歳と38歳）2名がエジプト人バーテンダー（57歳）を灰皿で殴るなどして殺害し逮捕された。

（3）9月中旬、ミラノ市トルビーゴにあるバー内でアルバニア人のパーティーが行われ、男性（34歳）が口論となった男性（23歳）を銃で殺害して逮捕された。

（4）9月上旬、ミラノ市タンブリーニ付近路上でイタリア人男性2名（38歳と43歳）が、イギリス人男性に銃を突きつけ同男性が身につけていたロレックス製腕時計を強奪し、その後逮捕された。

4 テロ・爆弾事件発生状況 特になし。

5 対日感情の変化 特になし。

6 本企業の安全に関する諸問題 特になし。